

2015年1月16日

KES審査登録事業者：最高責任者様

## 「京都市生物多様性プラン」に基づく KES エコロジカルネットワークについて

特定非営利活動法人KES環境機構  
専務理事 津村昭夫

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素はKES活動につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、最近環境問題の一環として“生物多様性”の取組みが全国的に広がっています。実は、京都の伝統的文化もこの“生物多様性”と密接に関わっています。例えば葵祭りや“フタバアオイ”、祇園祭と“チマキザサ”、五山の送り火と“アカマツ”等々。ところが近年の環境破壊や外来種等の混入などによりこれらの“フタバアオイ”、“チマキザサ”、“アカマツ”等々は「絶滅危惧種」になりつつあり、京都の伝統文化の継承が難しくなりつつあります。このように“生物多様性”は、単に文化の継承問題だけではなく、人間の安全で豊かな暮らしを支える基盤であることから、京都市では2014年3月に「生物多様性プラン」を策定し、その取組みを推進されることになりました。

このため、KESにおきましても、京都市内で約1250件のKES審査登録事業者様のネットワークを活用し、この「京都市生物多様性プラン」の取組みに協働していくことにしました。

まず昨年7月から、20数団体のKES審査登録事業者様にご協力いただき、既に都会の中でのグリーン化の社会実験を推進されている京都駅ビル開発㈱様(KESステップ2SRの取組みとして「緑水歩廊」を設置)と同じく梅小路公園の「みどりの森」の区間の「緑の回廊ネットワーク」から活動をはじめ、一定の成果を得ています。

そこで今年度からは、京都市域全体に「KESエコロジカルネットワーク」を推進することにしていきますので、京都市内の多くのKES審査登録事業者様のご参加をよろしくお願いいたします。

なお詳細な内容につきましては、「KESホームページ」(<http://www.keskyoto.org/>)に掲載していますのでご参照ください。

〔備考〕

1. お申し込みは、下記「申込用紙」に必要事項をご記入いただき、4月30日(木)までに、下記アドレスへご送信ください。

2. 具体的には、下記日程で説明会及び育成実習を予定しています。

日時：①説明会：2015年5月29日(金)、13:30~16:30

②育成実習：2015年6月19日(金)及び6月26日(育成種ごとに分け実習。

詳細は後報いたします。)

会場：京都工業会館(京都市右京区西京極豆田町2番地)

3. 本取組みに参加していただきますと、KES(またはKESステップ2SR)の環境改善目標(SR課題)の一環として活動していただけます。

4. 本件に関するお問い合わせ先：NPO法人KES環境機構

TEL：075-321-4767 FAX：075-322-6901 E-Mail:kes-ems@keskyoto.org

〔参考〕「エコロジカルネットワーク」：野生生物が生息・生育する様々な空間がつながる生態系のネットワーク

## 環境改善目標1:緑化活動(希少種の生息域外保全)で栽培に取り組む植物

1年目の参加事業者は、**A**または**B**(両方も可)を必須とします。**C**・**D**(両方も可)は希望する事業者が選択できます。

栽培セットの経費は、京都ゆかりの希少種保全のための事業に活用されます。

### **A** フタバアオイ (ウマノスズクサ科 多年草)



1400年続く葵祭に欠かせない植物ですが、環境の変化で激減しています。双葉の間に、小さな赤い花が下向きに目立たないように咲きます。NPO法人「葵プロジェクト」(上賀茂神社内)によって保全繁殖が図られています。

(京都府レッドリスト:記載なし)

◆**育て方**:木かげ、軒下などの半日陰。乾燥や強い日射を嫌います。明るく室内でも可能。

◆**花期**:3月~5月

◆**ゴール**:上賀茂神社に株を返納していただくと、「葵祭」で使われます。

◆**栽培セットの経費**:  
3株+容器等 5,000円

### **B** フジバカマ (キク科 多年草)



源氏物語にも登場する秋の七草の一つで、水辺に育ちます。一般に流通するのは別種。葉は香料となり、海外との渡りをする蝶アサギマダラが蜜を好むことでも知られます。KBS京都・緑化協会などが保全に取り組んでいます。

京都府レッドリスト:絶滅寸前種

◆**育て方**:日当たりを好みます。夏場は水を十分にやります。風通しに注意します。

◆**花期**:(鉢植)9月下旬~10月

◆**ゴール**:希望する事業者は梅小路公園で実物展示(または写真展示)していただきます。

◆**栽培セットの経費**:  
5株+容器等 5,000円

### **C** ヒオウギ (アヤメ科 多年草)



鮮やかな朱色の花が祇園祭に合わせたように咲き、厄除け・魔除けとして鉾町などに飾られます。葉は扇が開いたような形です。タネは漆黒で、「ぬばたま」「うばたま」の別名があります。一般にはこれより背が低い変種(ダルマヒオウギ)の系統が流通しています。

京都府レッドリスト:準絶滅危惧種

◆**育て方**:日当たりを好みます。比較的乾燥にも強い。

◆**花期**:7月中旬~9月

◆**ゴール**:希望する事業者は京都駅ビル「緑水歩廊」、祇園祭で実物展示していただきます。

◆**栽培セットの経費**:  
3株+容器等 3,000円

### **D** キクタニギク (キク科 多年草)



京都の東山を流れる菊尾川の河川敷にかつて自生していたことが和名の由来です。江戸期まで川の周辺はキクの名所でしたが、現在は環境の変化で東山に自生は確認できません。晩秋に小さな明るい黄色の花を多数咲かせます。

京都府レッドリスト:絶滅危惧種

◆**育て方**:日当たりを好みます。風通しに注意します。

◆**花期**:10月下旬~11月

◆**ゴール**:希望する事業者は京都駅ビル「緑水歩廊」で実物展示していただきます。

◆**栽培セットの経費**:  
3株+容器等 3,000円

※ 栽培指導協力:公益財団法人京都市都市緑化協会、特定非営利活動法人葵プロジェクト

